

令和 3 年度

事業報告

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

はじめに

平素から県民の皆様には赤十字事業の推進につきまして、温かいご支援、ご協力をいただき、心から御礼申し上げます。

令和3年度におきましては、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し、支部事業を展開することとなりました。

広島県支部では、「苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」という赤十字の使命達成のため、感染防止対策を講じた上で災害救護活動や県民の安全と健康を守る救急法等の講習普及事業、青少年赤十字事業等、幅広い事業を行ってまいりました。

まず、災害救護活動では、令和3年8月に西日本を中心とした豪雨災害が発生し、県内の災害救助法が適用された地域を中心に救援物資の配布等の救護活動を展開しました。

講習普及事業では、緊急事態宣言発令の影響を受けながらも、オンラインでの講習を取り入れ、一部の実技を制限しながら、救命・応急手当を学ぶ救急法、水の事故防止や溺れた人の救助を学ぶ水上安全法等の講習普及に努め、昨年度を上回る講習実績を達成しました。

赤十字ボランティア事業では、ボランティアに興味・関心のある方に赤十字ボランティアの役割等を理解し、赤十字ボランティアとして主体的に人道普及の活動に参加していただくため、初めて一般の方を対象としたボランティア研修を実施しました。

青少年赤十字事業では、青少年赤十字創設100周年を迎える令和4年度に向け、園児・児童・生徒のより一層の健康と安全、国際理解を深めるとともに、人類社会に対する奉仕の精神を育成することを目的として、「100万羽おりづるプロジェクト」を開始しました。

血液事業では、コロナ禍で献血への協力が得にくい状況の中、SNSを活用したタイムリーな広報の強化や献血WEB会員の増強を行うことで献血会場における献血者の密集や密接を回避するための献血予約の推進強化を図り、安定的に輸血用血液製剤の確保・供給を行いました。

医療事業では、新型コロナウイルスの専用病床を継続的に確保し、公的医療機関として地域医療体制を守るため、その使命と役割を果たしてまいりました。

これらの事業が実施できましたのは、県民並びに赤十字有功会等の赤十字会員、県内に組織された35の赤十字奉仕団をはじめとする多くのボランティア、地区・分区等における町内会・自治会等の皆様方による力強いご支援の賜物であると心から感謝申し上げます。

つきましては、引き続き皆様方の大きなお力添えを必要としておりますので、今後とも赤十字事業に対し、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日本赤十字社広島県支部

支部長 湯 崎 英 彦

も く じ

I 広島県支部の運営

1	組織図	1
2	役員	2
3	評議員会	3

II 事業の実施状況

1	災害救護活動	4
2	講習普及事業	13
3	赤十字ボランティア	22
4	青少年赤十字	26
5	国際活動	30
6	赤十字思想の普及	33
7	会員と活動資金	36
8	看護師等養成事業	39
9	血液事業	40
10	医療事業	41

III 決算状況

1	一般会計	43
2	医療施設特別会計	44

IV 参考資料

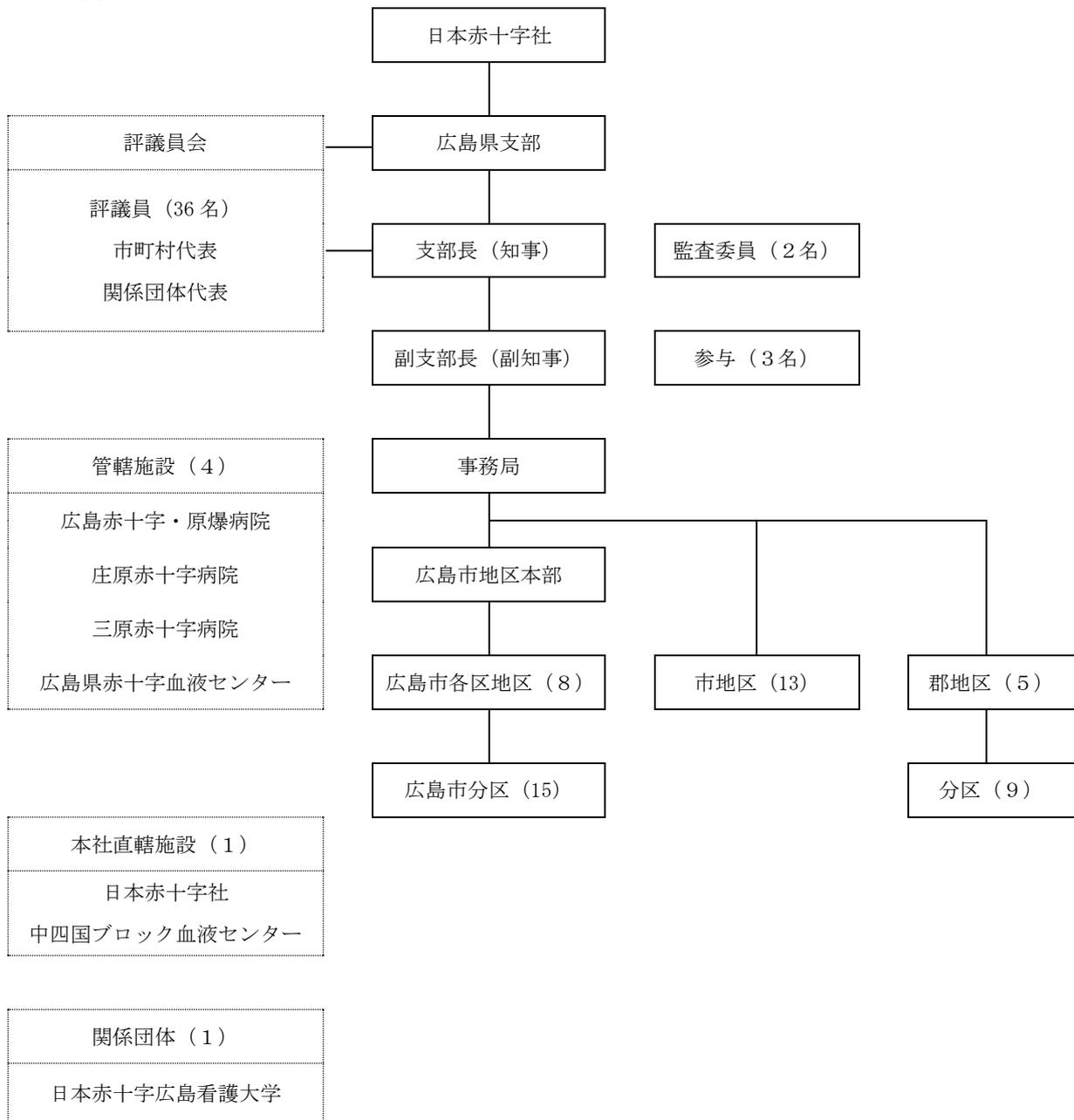
1	赤十字施設一覧	47
2	地区・分区一覧	48

I 広島県支部の運営

支部の運営は、各地区から選出された36名の評議員から構成される評議員会において、役員の選出、事業計画や予算、決算等の重要事項を審議・決定し、県内の各市区町に設置した地区本部・各地区・分区の協力を得ながら進めています。

また、平素の事業については、事務局において総務課・組織振興課・事業推進課の3課による調整、協力のもと各赤十字施設、地区・分区、赤十字奉仕団等と連携して実施しています。

1 組織図



2 役員 (令和4年3月31日現在)

- (1) 支部長 湯崎英彦 (広島県知事)
 (2) 副支部長 田邊昌彦 (広島県副知事)
 (3) 監査委員 山本一隆・井林孝二
 (4) 参 与 平川理恵・木下栄作・山口浩央
 (5) 評議員

■評議員一覧

選出地区		氏名	選出地区	氏名
広島市	地区本部	小池 信之	府中市	村上 明雄
		山本 直樹	三次市	堂本 昌二
		月村 佳子	庄原市	大原 直樹
	中区	行廣 真明	大竹市	太田 勲男
	東区	篠原 富子	東広島市	多田 稔
	南区	西本 和弘	廿日市市	堀野 和則
	西区	戸田 祐二	安芸高田市	米村 公男
	安佐南区	植竹 良子	江田島市	土手 三生
	安佐北区	國重 俊彦	安芸郡	吉田 隆行
	安芸区	長光 信治	山県郡	箕野 博司
	佐伯区	佐々木 尚行	豊田郡	高田 幸典
呉市	小松 良三	世羅郡	奥田 正和	
	佐藤 光子	神石郡	入江 嘉則	
竹原市	新谷 昭夫	支部長選出	中本 隆志	
三原市	新地 弘幸		松村 誠	
尾道市	澤田 昌文		宗兼 邦生	
福山市	中島 智治		本永 史郎	
	赤松 治美		竹下 純子	

3 評議員会

(1) 第1回評議員会

次の議案を文書審議し承認されました。

議案	令和2年度一般会計歳入歳出決算並びに特別会計歳入歳出決算について
報告	令和2年度広島県赤十字血液センター事業報告について

(2) 第2回評議員会

次の議案を文書審議し承認されました。

第1号議案	令和4年度日本赤十字社広島県支部事業計画について
第2号議案	令和4年度歳入歳出予算概算書について
第3号議案	令和4年度広島県赤十字血液センター事業計画について
第4号議案	支部長及び代議員の選出について

II 事業の実施状況

1 災害救護活動

日本赤十字社は、日本赤十字社法及び災害対策基本法や災害救助法に定める災害救護団体として災害救護活動を実施しています。

(1) 災害救護活動

令和3年8月、九州北部、中国地方など西日本を中心とした豪雨による災害が発生し、当支部は県内において災害救助法が適用された地域を中心に救援物資の配布等の救護活動を展開しました。



被災状況等の情報収集



救援物資の積み込み



被災地へ向かう災害対策本部要員



県内各所へ救援物資の配布

(2) 救護訓練・研修会

ア 救護訓練

迅速・的確な災害救護活動を実施できるよう、広島県内で行われた救助合同訓練に参加し、大規模災害の発生に備え、関係機関との連携強化、対処能力の向上を図りました。

■救護訓練参加状況

名称	日程	場所	参加者（人）
令和3年度国土交通省 太田川総合水防演習（情報伝達演習）	7月20日	広島市 （WEB）	1
第六管区海上保安本部主催 旅客船多数傷病者救助合同訓練	10月27日	三原市	20
日本赤十字社第5ブロック合同災害 救護訓練	11月13日	香川県	8
広島県総合防災訓練			新型コロナウイルス感染症に係る 影響を考慮し中止
広島市総合防災訓練			



救護所内での応急手当



合同指揮所で傷病者情報を救護所から収集

イ 救護研修会

救護員やボランティア等のスキルアップを図るため、各種研修会の実施や他団体主催の研修会に参加しました。



救護員基礎研修会



日赤災害医療コーディネーター研修会（支部主催）

■救護研修会実施・参加状況

名称	日程	場所	参加者（人）
救護員基礎研修会	6月12日	広島赤十字・原爆病院	21
救護員基礎研修会	7月16日	広島県支部	13
日赤災害医療コーディネーター研修会（支部主催）	7月5日	広島県支部（WEB）	22
こころのケア指導者養成研修会	2月11日～13日	広島県支部（WEB）	1
都道府県災害医療コーディネーター研修	2月15日～3月15日	広島県支部（動画配信）	1
広島県 J-SPEED 研修会（ファシリテーター養成コース）	2月19日	広島県支部（WEB）	7
日赤災害医療コーディネーターフォローアップ研修会（本社主催）	3月13日	広島県支部（WEB）	21
救護員実践研修会	—	—	新型コロナウイルス感染症に係る影響を考慮し中止
第5ブロック災害対策本部要員研修会	—	—	
日赤災害医療コーディネーター研修会	—	—	
全国赤十字救護班研修会	—	—	

（4）救護班等の編成

災害が発生し、医療救護の必要が生じた際に直ちに活動ができるよう、県内3カ所の赤十字病院に救護班10班を常備しています。救護班は、1班あたり医師（1人）・看護師長（1人）・看護師（2人）・薬剤師（1人）・主事（2人）を基準として編成し、災害の規模に応じて救護員を増減し被災地へ派遣しています。これに加え、災害対策本部要員（44人）、血液供給要員（3人）を登録し、非常時の様々な状況に対応できる体制としています。

そのほか、日赤災害医療コーディネーターチームを3チーム（22人）編成しています。

救護員に対しては、救護員研修会実施要綱に基づき、系統立てた研修会を開催しており、継続的に知識・技術の研鑽を図っています。

また、この救護班のほか、急性期の災害に即応すべく災害派遣医療チーム（DMAT）隊員が県内各赤十字病院に在籍しており、県内外で発生する災害派遣に備えています。

■救護班等編成状況

施設名	救護班数	医師（人）	看護師長（人）	看護師（人）	薬剤師（人）	主事（人）	合計（人）
広島赤十字・原爆病院	6班	6	6	12	6	12	42
庄原赤十字病院	2班	2	2	4	2	4	14
三原赤十字病院	2班	2	2	4	2	4	14
合計	10班	10	10	20	10	20	70

■災害対策本部要員、血液供給要員登録状況

施設名	災害対策本部要員(人)	血液供給要員(人)	合計(人)
広島県支部	19	—	19
広島赤十字・原爆病院	12	—	12
庄原赤十字病院	3	—	3
三原赤十字病院	6	—	6
広島県赤十字血液センター	4	3	7
合計	44	3	47

■日赤災害医療コーディネートチーム編成状況

施設名	医師(人)	看護師(人)	薬剤師(人)	事務職員(人)	合計(人)
広島赤十字・原爆病院	4	3	1	2	10
庄原赤十字病院	1	1	0	1	3
三原赤十字病院	2	1	0	3	6
広島県赤十字血液センター	0	0	0	1	1
広島県支部	0	0	0	2	2
合計	7	5	1	9	22

■災害派遣医療チーム(DMAT) 隊員登録状況

施設名	チーム数	医師(人)	看護師(人)	業務調整員(人)	合計(人)
広島赤十字・原爆病院	2チーム	3	3	3	9
庄原赤十字病院	1チーム	0	3	2	5
三原赤十字病院	1チーム	2	3	4	9
合計	4チーム	5	9	9	23



広島市内赤十字施設の救護員

(5) 救援物資

災害に備え、毛布や緊急セット等の救援物資を備蓄しており、要請に応じて被災者へ配布しました。

■救援物資備蓄状況

備蓄場所	毛布 (枚)	緊急セット (セット)	バスタオル (枚)	安眠セット (セット)	タオルケット (枚)	寝衣 (着)	
						大人	子供
広島県支部	3,347	2,936	480	630	452	44	300
庄原赤十字病院	550	300	—	—	—	—	—
三原赤十字病院	900	246	—	—	—	—	—
日本赤十字広島看護大学	1,000	—	—	—	—	—	—
地区・分区	456	171	448	306	7	246	155
合計	6,253	3,653	928	936	459	290	455



災害救助物資保管倉庫 (庄原赤十字病院)



災害救助物資保管倉庫 (三原赤十字病院)

■救援物資配布状況

被災世帯数	被災者数 (人)	毛布 (枚)	緊急セット (セット)	バスタオル (枚)	安眠セット (セット)	タオルケット (枚)	寝衣 (着)	
							大人	子供
54	99	270	148	137	252	0	96	16



緊急セット



安眠セット

(6) 救護資器材・車両の整備

日本赤十字社では、災害時において電気・水道等のライフラインが停止した場合に備え、必要とする電気・燃料・食糧等の物資はすべて自分たちで用意する自己完結型の救護活動を原則としており、各種の資器材を平時から備えています。

また、災害時に迅速かつ多様な活動ができるよう災害救援車両を各種整備しています。

■主要救護用資器材等保有状況

名称		数量	名称	数量	名称	数量
業務用無線 (150MHz)	基地局	4局	トリアージテント	3張	担架	70台
	移動局	48局	パイプテント	12張	発電機	8台
業務用無線 (400MHz)	基地局	1局	ワンタッチテント	3張	投光機 (ハルン・LED)	4台
	移動局	27局	エアーテント	5張	簡易トイレ	25個
アマチュア無線局		1局	ドラッシュテント	3張	医療セット	4セット
衛星携帯電話		7台	リフトテント	1張	折畳寝台	90台
折りたたみ式リヤカー		1台	炊出し釜	3個		



支部が所有するテント群



災害救援車 (支部)

■災害救援車両

名称	数量 (台)
通信指令車	1
d E R U (国内型緊急対応ユニット)	1
救急車	4
災害救援車 (赤十字施設)	9



車両等の引き渡し式（贈 協和鉦業株式会社）



広島赤十字・原爆病院に整備された災害救援車両

（7）地区・分区における災害救援車両や資器材の整備

地区・分区内での災害救護活動に使用するため、広島市地区本部中区地区及び佐伯区地区の災害救援車両を更新整備しました。

■災害救援車両及び資器材整備状況

地区・分区名		車両 (台)	テント (張)	炊出し釜 (個)	地区・分区名	車両 (台)	テント (張)	炊出し釜 (個)
広島市	中区	1	—	1	大竹市	1	2	3
	東区	1	1	1	東広島市	3	11	2
	南区	1	1	1	廿日市市	2	13	2
	西区	1	1	1	安芸高田市	1	19	2
	安佐南区	—	—	1	江田島市	1	6	1
	安佐北区	1	3	1	海田町	1	5	3
	安芸区	1	2	2	府中町	—	3	3
	佐伯区	1	4	3	熊野町	—	4	1
呉市	1	13	1	坂町	1	3	1	
竹原市	1	2	1	安芸太田町	—	6	2	
三原市	1	13	1	北広島町	2	7	1	
尾道市	1	10	6	大崎上島町	1	7	1	
福山市	1	9	4	世羅町	1	6	2	
府中市	1	2	1	神石高原町	—	6	—	
三次市	1	20	4	合計	29	190	54	
庄原市	1	11	1					

(9) 防災教育事業の実施

ア 赤十字防災セミナーの開催

日本赤十字社防災教育事業として、赤十字防災セミナーは地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高めることを目的として実施しています。

また、一部のセミナーについては、新型コロナウイルス感染症への感染防止の観点からWEBにより開催しました。

■赤十字防災セミナー実施状況

カリキュラム	内容	回数 (回)	受講者 (人)
災害への備え (講義)	災害・防災についての考え方や地震・大雨災害など災害別の想定被害等から平時の備えの重要性を理解する。	13	341
災害エスノ グラフィー	大規模災害の被災者の経験談を通じて、災害を追体験することで被災の具体的なイメージを理解する。	2	37
災害図上訓練 (DIG)	地域の防災マップの作成を通じて、防災上の資源や危険箇所等を把握・理解し、個人や地域での防災対策の実施につなげる。	3	29



オンラインによる赤十字防災セミナー



災害への備え（講義）



災害エスノグラフィー



災害図上訓練（DIG）

イ 防災教育事業指導者養成研修の開催

県内で防災や減災に関する知識を普及する指導者の育成が必要であることから、「赤十字防災セミナー」を運営する上で、十分な知識・技術を有することはもちろんのこと、事業運営に自発的・積極的に協力いただけることに主眼を置き、指導者養成研修を2回開催し、11名の指導者を養成しました。



日本赤十字社が行う防災教育事業についての講義

(10) 国内義援金の受付

国内各地で発生した災害に対し、義援金を受け付けました。集められた義援金は全額、各被災都道府県に設置された義援金配分委員会に送金され、同委員会で定める配分基準に従って被災者に届けられます。

■義援金受付状況（令和3年度広島県支部受付分）

名称	受付期間	件数 (件)	金額（円）
平成30年7月豪雨災害義援金（広島県）	4月1日～3月31日	341件	16,640,725円
令和2年7月豪雨災害義援金	4月1日～3月31日	111件	986,103円
令和3年2月福島県沖地震災害義援金	4月1日～5月31日	20件	153,246円
令和3年島根県松江市大規模火災義援金	4月12日～5月31日	17件	102,992円
令和3年7月大雨災害義援金	7月9日～12月28日	106件	1,619,315円
令和3年7月大雨災害義援金（広島県）	8月26日～12月28日	213件	125,070,441円
令和3年台風第9号等大雨災害義援金	8月18日～12月28日	33件	292,461円
令和3年8月大雨災害義援金	8月23日～3月31日	17件	104,253円
令和3年8月大雨災害義援金（広島県）	8月26日～12月28日	388件	61,320,613円
令和3年長野県茅野市土石流災害義援金	9月14日～3月31日	39件	322,820円
令和4年3月福島県沖地震災害義援金	3月23日～3月31日	2件	60,036円

2 講習普及事業

地域住民の健康と安全を守る救急法等の講習を一般の方に広く普及するため、町内会をはじめ企業や学校等に対して実施しました。

新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、受講者及び指導員の安全を確保するため、人工呼吸や人と人が接触する実技、3つの密が避けられないグループワーク等は実施できませんでしたが、実施できない内容については動画等を用いて説明を行いました。



感染防止対策を講じながらの実技演習

【主な感染防止対策（各講習共通）】

- ① 事前に受講者及び指導員の健康状態をチェックする。
- ② 受講者と受講者の間隔を2 m程度確保できる広さの会場であること。
- ③ 受講者間での講習資器材（訓練人形やAED等）の共有はせず、一人一つの資器材で実技を行う。
- ④ 講習前後の手洗い・手指消毒の徹底。
- ⑤ 使用前後の講習資器材の消毒。

（1）救急法

ア 一般普及講習・短期講習

病気、けがや災害から自分自身を守るとともに、けが人や急病人を正しく救助して医師又は救急隊員等に引き継ぐまでの救命手当（心肺蘇生、AEDによる除細動、異物除去等）や応急手当（止血の仕方、三角巾の使い方、骨折の固定方法等）の知識や技術を普及することを目的とした講習を支部、地域や職場、学校等で実施しました。

■講習実施状況（救急法）

名称	計画 (回数)	実績			
		回数	受講者(人)	修了者(人)	認定者(人)
基礎講習	120	57	1,139	1,134	—
救急員養成講習	39	14	497	497	497
指導員養成講習	1	1	20	20	20
短期講習	420	186	5,413	—	—
合計	580	258	7,069	1,651	517

※「計画（回数）」とは、予算編成時に策定した講習別の実施予定回数。

■地域別講習実施状況（救急法）

市区町名		基礎講習		救急員養成講習		短期講習	
		回数	受講者（人）	回数	受講者（人）	回数	受講者（人）
広島市	中区	17	284	2	25	17	290
	東区	4	72	2	52	9	321
	南区	2	60	—	—	22	663
	西区	1	4	—	—	22	663
	安佐南区	3	25	1	24	23	698
	安佐北区	—	—	—	—	16	402
	安芸区	—	—	—	—	6	143
	佐伯区	1	10	—	—	14	273
小計		28	455	5	101	129	3,453
呉市		—	—	—	—	6	246
竹原市		—	—	—	—	1	21
三原市		1	11	1	8	3	261
尾道市		8	76	—	—	1	28
福山市		3	36	—	—	10	235
府中市		—	—	—	—	1	23
三次市		—	—	—	—	1	8
庄原市		2	48	1	22	2	104
大竹市		—	—	—	—	1	16
東広島市		2	16	—	—	6	224
廿日市市		5	192	2	226	3	33
安芸高田市		—	—	—	—	3	53
江田島市		1	11	—	—	3	68
府中町		—	—	—	—	3	211
海田町		2	33	2	33	3	145
熊野町		—	—	—	—	4	76
坂町		3	208	1	54	2	142
安芸太田町		—	—	—	—	3	53
北広島町		—	—	—	—	—	—
大崎上島町		—	—	—	—	—	—
世羅町		—	—	—	—	—	—
神石高原町		—	—	—	—	1	13
県外		2	53	2	53	—	—
合計		57	1,139	14	497	186	5,413

イ 指導員養成講習

救急法講習普及計画に基づき、赤十字の使命を理解し、十分な知識と技術を持った指導力のある実働的な指導員の養成を図ることを目的として実施しました。

ウ 指導員研修会等

救急法指導員を対象に知識・技術・指導法の維持向上を目的とした指導員研修会を実施しました。

■指導員研修会実施状況（救急法）

場所	日程	受講者（人）
広島県支部	2月16日、2月26日、3月8日、3月13日	169
庄原市ふれあいセンター	2月20日	12
福山すこやかセンター	2月23日	19
合計		200

■指導員登録状況（救急法）

ボランティア指導員（人）	職員指導員（人）	合計（人）
174	60	234

（2）水上安全法

ア 一般普及講習・短期講習

水の事故から生命を守り、泳ぎの基本と自己保全、溺者の救助、救命・応急手当等、水難救助に関する総合的な知識と技術を普及することを目的とした講習を支部、地域や職場、学校等で実施しました。

■講習実施状況（水上安全法）

名称	計画 (回数)	実績		
		回数	受講者（人）	認定者（人）
救助員養成講習Ⅰ	4	2	19	18
救助員養成講習Ⅱ	1	0	0	0
指導員養成講習	0	0	0	0
短期講習	70	27	1,357	—
合計	75	29	1,376	18

※「計画（回数）」とは、予算編成時に策定した講習別の実施予定回数。

■地域別講習実施状況（水上安全法）

市区町名		救助員Ⅰ養成講習		救助員Ⅱ養成講習		短期講習	
		回数	受講者（人）	回数	受講者（人）	回数	受講者（人）
広島市	中区	—	—	—	—	2	43
	東区	—	—	—	—	—	—
	南区	—	—	—	—	1	7
	西区	—	—	—	—	—	—
	安佐南区	—	—	—	—	3	62
	安佐北区	—	—	—	—	1	25
	安芸区	—	—	—	—	3	110
	佐伯区	—	—	—	—	1	24
小計		—	—	—	—	11	271
呉市		—	—	—	—	—	—
竹原市		—	—	—	—	—	—
三原市		—	—	—	—	—	—
尾道市		—	—	—	—	—	—
福山市		—	—	—	—	—	—
府中市		—	—	—	—	—	—
三次市		—	—	—	—	1	7
庄原市		—	—	—	—	—	—
大竹市		—	—	—	—	—	—
東広島市		1	8	—	—	1	10
廿日市市		—	—	—	—	—	—
安芸高田市		—	—	—	—	—	—
江田島市		1	11	—	—	—	—
府中町		—	—	—	—	—	—
海田町		—	—	—	—	—	—
熊野町		—	—	—	—	2	45
坂町		—	—	—	—	—	—
安芸太田町		—	—	—	—	—	—
北広島町		—	—	—	—	—	—
大崎上島町		—	—	—	—	—	—
世羅町		—	—	—	—	—	—
神石高原町		—	—	—	—	—	—
県外		—	—	—	—	12	1,024
合計		2	19	—	—	27	1,357

イ 指導員研修会等

水上安全法指導員を対象に知識・技術・指導法の維持向上を目的とした指導員研修会を実施しました。

■指導員研修会実施状況（水上安全法）

場所	日程	受講者（人）
広島県支部	2月4日、2月5日	33
合計		33

■指導員登録状況（水上安全法）

ボランティア指導員（人）	職員指導員（人）	合計（人）
39	4	43

（3）幼児安全法

ア 一般普及講習・短期講習

子どもが家庭や地域で健やかに育っていくよう、子どもの成長・発達に伴う事故の予防と急病の対応及び万一に備えての救命・応急手当の知識や技術を普及することを目的とした講習を支部、地域や職場、保育所等で実施しました。

■講習実施状況（幼児安全法）

名称	計画 (回数)	実績		
		回数	受講者（人）	認定者（人）
支援員養成講習	6	0	0	0
短期講習	186	132	2,439	—
合計	192	132	2,439	0

※「計画（回数）」とは、予算編成時に策定した講習別の実施予定回数。



背部叩打法による気道異物除去



オンラインによる幼児安全法講習

■地域別講習実施状況（幼児安全法）

市区町名		支援員養成講習		短期講習	
		回数	受講者（人）	回数	受講者（人）
広島市	中区	—	—	14	441
	東区	—	—	15	323
	南区	—	—	10	206
	西区	—	—	10	320
	安佐南区	—	—	19	360
	安佐北区	—	—	4	47
	安芸区	—	—	3	19
	佐伯区	—	—	3	61
小計		—	—	78	1,777
呉市		—	—	2	35
竹原市		—	—	—	—
三原市		—	—	21	220
尾道市		—	—	3	39
福山市		—	—	21	254
府中市		—	—	—	—
三次市		—	—	—	—
庄原市		—	—	—	—
大竹市		—	—	—	—
東広島市		—	—	3	34
廿日市市		—	—	1	8
安芸高田市		—	—	—	—
江田島市		—	—	—	—
府中町		—	—	—	—
海田町		—	—	—	—
熊野町		—	—	1	14
坂町		—	—	1	53
安芸太田町		—	—	—	—
北広島町		—	—	—	—
大崎上島町		—	—	—	—
世羅町		—	—	1	5
神石高原町		—	—	—	—
県外		—	—	—	—
合計		—	—	132	2,439

イ 指導員研修会等

幼児安全法講習指導員を対象に知識・技術・指導法の維持向上を目的とした指導員研修会を実施しました。

■指導員研修会実施状況（幼児安全法）

場所	日程	受講者（人）
広島県支部	2月28日、3月6日	48
合計		48

■指導員登録状況（幼児安全法）

ボランティア指導員（人）	職員指導員（人）	合計（人）
36	28	64

（４）健康生活支援講習

ア 一般普及講習・短期講習

高齢期を健やかに事故なく過ごすために必要な知識・技術、高齢者自立支援に必要な介護技術等を普及することを目的とした講習を支部、地域等で実施しました。

また、避難所における不自由な生活から高齢者を守るために知っておきたい知識や支援技術について学ぶ災害時高齢者生活支援講習を実施しました。

■講習実施状況（健康生活支援講習）

名称	計画 (回数)	実績			
		回数	受講者（人）	修了者（人）	認定者（人）
支援員養成講習	5	0	0	0	0
災害時高齢者生活支援講習	4	2	14	—	—
短期講習	31	7	90	—	—
合計	40	9	104	0	0

※「計画（回数）」とは、予算編成時に策定した講習別の実施予定回数。

■地域別講習実施状況（健康生活支援講習）

市区町名		支援員養成講習		災害時高齢者生活支援講習		短期講習（災害時以外）	
		回数	受講者（人）	回数	受講者（人）	回数	受講者（人）
広島市	中区	—	—	1	3	2	27
	東区	—	—	—	—	—	—
	南区	—	—	—	—	—	—
	西区	—	—	—	—	—	—
	安佐南区	—	—	—	—	—	—
	安佐北区	—	—	—	—	—	—
	安芸区	—	—	—	—	—	—
	佐伯区	—	—	—	—	—	—
小計		—	—	1	3	2	27
呉市		—	—	—	—	1	30
竹原市		—	—	—	—	—	—
三原市		—	—	—	—	—	—
尾道市		—	—	—	—	—	—
福山市		—	—	1	11	—	—
府中市		—	—	—	—	—	—
三次市		—	—	—	—	—	—
庄原市		—	—	—	—	—	—
大竹市		—	—	—	—	—	—
東広島市		—	—	—	—	—	—
廿日市市		—	—	—	—	2	14
安芸高田市		—	—	—	—	—	—
江田島市		—	—	—	—	—	—
府中町		—	—	—	—	—	—
海田町		—	—	—	—	—	—
熊野町		—	—	—	—	1	10
坂町		—	—	—	—	1	9
安芸太田町		—	—	—	—	—	—
北広島町		—	—	—	—	—	—
大崎上島町		—	—	—	—	—	—
世羅町		—	—	—	—	—	—
神石高原町		—	—	—	—	—	—
県外		—	—	—	—	—	—
合計		—	—	2	14	7	90

イ 指導員研修会等

健康生活支援講習指導員を対象に知識・技術・指導法の維持向上を目的とした指導員研修会を実施しました。

■指導員研修会実施状況（健康生活支援講習）

場所	日程	受講者（人）
広島県支部	3月12日	24
合計		24

■指導員登録状況（健康生活支援講習）

ボランティア指導員（人）	職員指導員（人）	合計（人）
21	21	42



健康生活支援講習



災害時高齢者生活支援講習

3 赤十字ボランティア

赤十字ボランティアには、グループで活動しているボランティアと個人で活動しているボランティアがいます。グループで活動しているボランティアは、市区町村ごとに組織された「地域赤十字奉仕団」、おおむね18～30歳の社会人や学生などで組織された「青年赤十字奉仕団」、さまざまな専門技術や職業を活かして活動する「特殊赤十字奉仕団」、の3つの種類があります。県内に合わせて35団体組織されています。

個人で活動しているボランティアは、日本赤十字社の本社、各都道府県支部、赤十字病院、赤十字血液センター、献血ルーム、社会福祉施設などの各施設で活動しています。

赤十字奉仕団は、赤十字の人道・博愛の精神に基づき、明るく住みよい社会を築き上げていくために様々なボランティア活動を展開しています。

また、各種奉仕団の連携強化や活動の充実を図るため、委員会や研修会等を実施しています。

■委員会・研修会等実施状況

名称	日程	場所	参加者(人)
赤十字奉仕団中央委員会	5月28日	本社(WE B)	1
赤十字ボランティア基礎研修	7月24日	広島県支部	8
赤十字ボランティア・リーダー研修会	10月28日～29日	本社(WE B)	3
第5ブロック赤十字奉仕団研修会	11月11日	広島県支部(WE B)	8
第1回広島県赤十字奉仕団支部委員会	—	—	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止
第1回広島県赤十字奉仕団委員長会議	—	—	
赤十字ボランティア・リーダーシップ研修会	—	—	
第2回広島県赤十字奉仕団支部委員会	—	—	
第2回広島県赤十字奉仕団委員長会議	—	—	
赤十字奉仕団委員長交流研修会	—	—	
赤十字奉仕団支部指導講師研修会	—	—	



赤十字ボランティア基礎研修会



第5ブロック赤十字奉仕団研修会

(1) 地域赤十字奉仕団

地域赤十字奉仕団は、各地域における赤十字事業を第一線で支えるボランティア組織として、主に市町単位に組織され、活動資金募集活動や赤十字思想の普及活動に取り組むほか、高齢者支援活動（給食サービス・友愛訪問等）、社会福祉施設の訪問や地域福祉活動等のそれぞれの地域のニーズに応じた活動を展開しています。

■地域赤十字奉仕団一覧

名称	結成年度	団員(人)
呉市赤十字奉仕団	昭和 26 年度	1,092
竹原市女性連絡協議会赤十字奉仕団	昭和 33 年度	1,050
広島市女性赤十字奉仕団	昭和 35 年度	6,000
坂町赤十字奉仕団	昭和 63 年度	55
神辺町赤十字奉仕団	平成 元年度	51
江田島市赤十字奉仕団	平成 元年度	245
安芸津町女性赤十字奉仕団	平成 2 年度	69
木江赤十字奉仕団	平成 2 年度	36
尾道市赤十字奉仕団	平成 5 年度	36
三原市赤十字奉仕団	平成 5 年度	23
東広島市赤十字奉仕団	平成 5 年度	18
三和町赤十字奉仕団	平成 6 年度	45
福山市赤十字奉仕団	平成 9 年度	34
本郷町赤十字奉仕団	平成 9 年度	147
向島町はなみずき赤十字奉仕団	平成 12 年度	12
庄原市赤十字奉仕団	平成 17 年度	63
尾道市瀬戸田町さくら赤十字奉仕団	平成 20 年度	23
世羅町赤十字奉仕団	平成 20 年度	30
海田町おもちゃの病院赤十字奉仕団	平成 20 年度	14
府中町防災研究会赤十字奉仕団	平成 22 年度	20
府中市赤十字奉仕団	平成 24 年度	20
はつかいちし災害救援ボランティアネットワーク赤十字奉仕団	平成 26 年度	16
熊野町女性会赤十字奉仕団	平成 26 年度	24
合計	23 団	9,123

(2) 青年赤十字奉仕団

青年赤十字奉仕団は、県内の大学・短期大学等の学生や社会人によって組織されており、社会福祉施設への定期訪問や若年層を中心にした献血推進活動、義援金募集活動等に取り組んでいます。

例年 12 月に行っているNHK海外たすけあいキャンペーンでは、新型コロナウイルス感染症への感染対策を施した上で、街頭募金と支援バザーを実施しました。

その他、令和4年度に創設 100 周年を迎える青少年赤十字特別事業の参加者募集として、支部公式 YouTube チャンネルにおいて動画によるPR活動を行いました。



広島市内の街頭でNHK海外たすけあい募金を実施



100万羽おりづるプロジェクトへの協力

■青年赤十字奉仕団一覧

名称	結成年度	団員(人)
山陽女子短期大学赤十字ボランティアサークル	昭和 62 年度	40
世羅地区夢工房四季青年赤十字奉仕団	昭和 62 年度	11
広島県青年赤十字奉仕団	平成 10 年度	67
日本赤十字広島看護大学学生赤十字奉仕団	平成 18 年度	41
安田女子大学赤十字奉仕団	平成 28 年度	14
合計	5 団	173

■協議会・研修会等参加状況

名称	日程	場所	参加者(人)
第 1 回赤十字ユース委員会	4 月 25 日	本社 (WEB)	1
第 5 ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会	6 月 5 日	高知県 (WEB)	2
第 5 ブロック青年赤十字奉仕団研修会	9 月 20 日	島根県 (WEB)	2
第 2 回赤十字ユース委員会	2 月 23 日	本社 (WEB)	1

(3) 特殊赤十字奉仕団

アマチュア無線やバイク等専門的な技術や資格を有する特殊赤十字奉仕団は、その特性を活かした災害救護活動や赤十字病院内のボランティア活動、青少年赤十字の支援、防災活動等を行っています。

■特殊赤十字奉仕団一覧

名称	結成年度	団員(人)
すみれ会赤十字奉仕団	昭和 51 年度	13
広島県安全赤十字奉仕団	昭和 57 年度	86
広島県アマチュア無線赤十字奉仕団	平成 3 年度	84
広島レスキューサポートバイク赤十字奉仕団	平成 10 年度	25
広島県青少年赤十字賛助奉仕団	平成 14 年度	28
健康・栄養赤十字奉仕団	令和元年度	28
広島県赤十字水上安全奉仕団	令和 2 年度	27
合計	7 団	291

■協議会・研修会等参加状況

名称	日程	場所	参加者(人)
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会 総会・第 1 回役員会	7 月 17 日	本社 (WEB)	1
中四国ブロック青少年赤十字賛助奉 仕団協議会・研修会	9 月 24 日	香川県 (WEB)	1

(4) 赤十字ボランティアの育成

支部は、令和 3 年度から一般の方を対象としたボランティア研修を実施しています。

この研修の目的は、ボランティアに興味・関心のある方に赤十字ボランティアの役割等を理解していただき、「赤十字ボランティアとして主体的に人道普及の活動に参加するため、自分自身ができることから始めること」にあります。

初年度となる今年は 8 名の参加があり、参加者のうち 3 名が同年中に防災教育事業指導者の資格を取得しました。



基礎研修で血液製剤の製造工程を見学

4 青少年赤十字

青少年赤十字は、赤十字の基本理念である「人道」に基づき、「やさしさ」や「思いやり」を行動に移せる青少年の育成を、学校教育の中で実践することを目的とし、3つの実践目標と3つの態度目標を掲げています。

3つの実践目標

- 『健康・安全』 生命と健康を大事にする。
- 『奉仕』 人間として社会のため、人のためにつくす責任を自覚し実行する。
- 『国際理解・親善』 広く世界の青少年を知り、仲良く助け合う精神を養う。

3つの態度目標

- 『気づき』 注意深い生活を心がけ、自ら課題に気づく。
- 『考え』 原因や問題解決の道筋を考える。
- 『実行する』 解決のために実行する。

(1) 青少年赤十字加盟校

県内 263 の学校・園が青少年赤十字に加盟しており、研修会やリーダーシップ・トレーニング・センターへの参加等、様々な活動を行っています。

■ 青少年赤十字加盟状況

区分	加盟校 (校)	メンバー (人)
幼稚園・保育所	31	3,673
小学校	99	35,509
中学校	85	26,760
高等学校	44	10,002
特別支援学校	4	545
合計	263	76,489



やまゆり訪問 (安芸太田町立上殿小学校)



保育園での加盟登録式

(2) 青少年赤十字広島県指導者協議会

青少年赤十字には、各都道府県に青少年赤十字加盟校の教員で組織された「青少年赤十字指導者協議会」が設置されています。この協議会は、青少年赤十字の健全な発展と普及促進を目的として、指導・運営等に関する諸事項を研究・協議し、研修会やリーダーシップ・トレーニング・センター等の事業を企画・遂行しています。

(3) 青少年赤十字研修会・講習会等

青少年赤十字広島県指導者研修会は、青少年赤十字の指導にあたる学校・園の指導者を対象とし、指導者の養成・研修を行っています。

本社や第5ブロックの研修会等では、オンラインを活用し、他県の指導者と積極的な意見交換・相互指導の場としています。

■研修会・講習会等参加状況

名称	日程	場所	参加者(人)
青少年赤十字広島県指導者協議会総会・役員会・常任委員会	4月16日	広島県支部	33
青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	6月29日	本社(WE B)	1
第5ブロック青少年赤十字指導者協議会並びに青少年赤十字事務担当者会議	10月22日	高知県(WE B)	2
青少年赤十字指導主事対象研究会	9月30日	本社(WE B)	1
青少年赤十字広島県指導者研修会	11月13日	広島県支部(WE B)	12

(4) 青少年赤十字広島県リーダーシップ・トレーニング・センター等

ア 青少年赤十字広島県リーダーシップ・トレーニング・センター

県内の児童・生徒を対象とし、赤十字や青少年赤十字に関する知識や赤十字救急法等の技術を学びながら、集団生活の中でリーダーとして必要な自主・自立の精神を身につけます。

名称	区分	日程	場所	参加者(人)	指導者(人)
青少年赤十字広島県リーダーシップ・トレーニング・センター	小学校	8月4日	各校(WE B)	23	6
	中学校	8月10日～11日	—	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	
	高等学校	8月10日	各校(WE B)	35	13



小学校の部

高等学校の部

イ 青少年赤十字スタディ・センター

青少年赤十字スタディ・センターは、本社が主催する青少年赤十字リーダー養成のための宿泊型研修会です。各都道府県の青少年赤十字加盟校（高等学校）の代表生徒が山梨県にある山中湖東照館で4泊5日におよぶ研修会に参加しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、WEBによる研修（スタディ・プログラム）として開催され、本県からは、県内の青少年赤十字加盟校中・高校生の代表8名が参加しました。



他県の高校生と意見交換する生徒たち

名称	日程	場所	参加者(人)
青少年赤十字スタディ・プログラム	12月25日～26日	本社（WEB）	8

（5）日本・韓国青少年赤十字相互交流事業

大韓赤十字社忠南支社との間で、国際理解・親善の具体的な実践の場として、交流を通じ互いの生活習慣や歴史文化を学びながら相互理解、友情、協力を深めています。

日程	中・高校生参加者(人)	指導者(人)
受入： -	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	
派遣： -		

(6) 青少年赤十字広島県大会

青少年赤十字加盟校の相互交流とメンバーの親善を深めるとともに、青少年赤十字活動の充実・発展を図ることを目的として、開催しています。永年継続加盟校の表彰、中学校・高等学校の各校による活動発表や分科会を行っています。



オンラインによる開催

名称	日程	場所	参加者（人）
青少年赤十字広島県大会	11月27日	広島県支部 (WEB)	47

(7) 広島県青少年赤十字研究会

青少年赤十字加盟校の指導者を対象に、学校教育における青少年赤十字の現状と成果を理解し、今後の青少年赤十字活動の普及及び活性化を図ることを目的に研究会を開催しています。プログラムの中では、青少年赤十字研究推進校の活動報告のほか、指導者による積極的な意見交換が行われます。

名称	日程	場所	参加者（人）
広島県青少年赤十字研究会	2月10日	広島県支部 (WEB)	34

(8) 青少年赤十字活動資金（通称：1円玉募金）

青少年赤十字では、実践目標のひとつ「国際理解・親善」の一環として、世界で苦しんでいる同世代の子どもたちのために募金活動（1円玉募金）を行っています。

令和3年度は、県内1園が集めた1円玉募金を受け付けました。

■ 1円玉募金受付状況

件数（件）	金額（円）
1	621

(9) 青少年赤十字創設 100 周年特別事業「100 万羽おりづるプロジェクト」

青少年赤十字創設 100 周年を迎える令和 4 年度に向け、園児・児童・生徒のより一層の健康と安全、国際理解を深めるとともに、人類社会に対する奉仕の精神を育成することを目的として、「100 万羽おりづるプロジェクト」を開始しました。

同プロジェクトの実施年度は令和 4 年度になりますが、令和 3 年度末で卒業する児童・生徒の参加を可能にするため、令和 4 年 1 月から先行制作期間としてスタートしています。

来年 9 月には、集まったおりづるを使用してギネス世界記録に挑戦する予定です。



青少年赤十字創設 100 周年ロゴマーク



おりづるを制作する青少年赤十字加盟校の児童

5 国際活動

日本赤十字社は、国際赤十字の一員として、世界 192 の国と地域の赤十字・赤新月社やジュネーブにある赤十字の国際機関とともに、緊急救援・復興支援や開発協力等を実施しています。

(1) 国際救援・開発協力要員の登録状況

日本赤十字社では、海外で発生した災害や保健衛生事業に従事するための要員を「国際救援・開発協力要員（以下、「要員」という。）」として常時登録しています。

日本赤十字社本社が 1 月 25 日～2 月 1 日に開催した国際救援・開発協力要員研修Ⅱ（IMPACT）に参加し、要員 1 名を養成しました。

■ 県内登録状況

施設名	医師（人）	看護師（人）	薬剤師（人）	事務（人）	合計（人）
日本赤十字社広島県支部	0	0	0	3	3
広島赤十字・原爆病院	2	1	1	2	6
三原赤十字病院	0	0	0	0	0
合計	2	1	1	5	9

(2) 国際活動参加事業

第5ブロック及び当支部は、国際赤十字の一員として、本社が行う国際活動に係る職員の派遣、国際支援事業への財政的・物的支援を行っています。令和3年度には、次の国際支援事業への財政的支援を行いました。

ア アジア・大洋州 給水・衛生災害対応キット整備事業（第5ブロック共同参加）

アジア・大洋州地域の災害多発国赤十字社が、給水・衛生災害対応キットを計画的に配備し、災害時に効果的に給水や衛生活動を展開できるよう各国赤十字社のスタッフ・ボランティアの研修と人材育成のための事業資金支援を行いました。



イ ネパール・コミュニティ防災強化事業

ネパール連邦民主共和国は、自然災害や国内紛争と政情不安などにより、公共サービスが立ち遅れていることから、災害に備えた強い地域づくりと、保健医療体制の強化、衛生環境の改善、災害リスクの削減軽減に対する能力向上のための事業資金支援を行いました。



ウ ラオス救急法普及支援事業

ラオス人民民主共和国は、医療従事者が不足しており、医療水準も近隣諸国と比べて極めて低い状況にあることから、救急法普及体制を強化し、地域社会への救急法講習の普及を推進するための事業資金支援を行いました。



エ バングラデシュ南部避難民保健医療支援事業

バングラデシュ南部の避難民にキャンプに暮らす避難民及び地元コミュニティの健康状況が一次医療及び地域保健を通じて改善されるよう、必要に応じ薬剤師、災害対応要員、技術要員の派遣等、地元赤十字社の対応能力強化に寄与するための事業資金支援を行いました。



(3) 海外救援金

海外で突発的に発生した大規模災害や紛争発生時に募集する救援金を受け付けました。集められた救援金は被災国の赤十字社が行う被災者支援に役立てられます。

■海外救援金受付状況（令和3年度広島県支部受付分）

名称	受付期間	件数（件）	金額（円）
中東人道危機救援金	4月1日～3月31日	5	11,677
バングラデシュ南部避難民救援金	4月1日～3月31日	4	25,079
アフガニスタン人道危機救援金	9月22日～3月31日	3	110,000
2021年ハイチ地震救援金	8月18日～11月30日	10	126,297
トンガ大洋州噴火津波救援金	1月26日～3月31日	16	2,175,996
ウクライナ人道危機救援金	3月2日～3月31日	116	3,530,834

(4) 「NHK海外たすけあい」（第39回）キャンペーン

「NHK海外たすけあい」キャンペーンは世界各地の紛争や自然災害、病気などに苦しむ人々を救うために、日本赤十字社が昭和58年から毎年12月にNHKと共同で実施しています。

支部では、広島県青年赤十字奉仕団が中心となり、青少年赤十字加盟校の生徒達とともに街頭募金活動と支援バザーを実施し、その売り上げを寄付しました。

■受付状況

名称	受付期間	件数（件）	金額（円）
NHK海外たすけあいキャンペーン	12月1日～25日	2,569	19,652,948



オープニングセレモニーでは園児たちが募金を持参



広島県青年赤十字奉仕団メンバーによる支援バザー

6 赤十字思想の普及

赤十字の理念や活動について県民の理解を深めるため、5月の赤十字運動月間での赤十字レッドライトプロジェクトの実施や将来を担う子供たちへの青少年赤十字PR活動、また年間を通じ、リーフレット等を配布し、赤十字思想の普及に努めています。

(1) イベント

ア レッドライトアッププロジェクト 2021

(ア) 日程 5月8日～14日

(イ) 内容 赤十字の創始者アンリー・デュナン生誕の日(5月8日)を世界赤十字デーと定め、「人道」への理解を深めていただくことを目的として、歴史的建造物やランドマーク施設を赤くライトアップする。

(ウ) 場所 本通商店街アーケード(広島市中区)



赤くライトアップされた本通商店街アーケード

イ ひろしま防災・減災WEEK2021

(ア) 期間 9月1日～6日

(イ) 内容 9月1日の「防災の日」に合わせ、過去の災害における事例、災害への備えや災害時における感染症対策などをワークショップ形式で学ぶ。

(ウ) 場所 CLiP HIROSHIMA
(広島市中区)



ウ 安佐南防災フェス 2021

(ア) 日程 10月16日

(イ) 内容 地域住民の防災意識の向上を目的として、防災関係機関が体験・展示・イベント等を実施。

(ウ) 場所 イオンモール広島祇園
(広島市安佐南区)



エ 45th ひろしまフラワーフェスティバル

(ア) 日程 5月3日～5日

※ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、従来の内容を縮小して開催され、「花の総合パレード」、「ひろば」は開催されなくなったことから、参加を取り止め。

オ 赤十字フェスタ in ひろしま 2021

(ア) 日程 9月12日(ワールド・ファストエイド・デー)

※ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

(2) 広報媒体

ア 路面電車へのラッピング広告

(ア) 期間 通年

(イ) 内容 赤十字をアピールするため、日本赤十字社キャラクターと、献血キャラクターで装飾したラッピング電車を、広島電鉄宮島線（広島駅～広電宮島口駅）で1日7往復運行。



イ ACTION! 防災・減災

～救いを託されている。～

(ア) 期間 3月1日～31日

(イ) 内容 東日本大震災の経験から、社会の防災への意識が高まる3月に「災害への備え」という行動

(ACTION) を働きかける。特に新型コロナウイルス感染症まん延下において必要な備えも併せて発信し、防災・減災の意識向上を図る。



ウ 赤十字運動月間 PR

(ア) 日時 5月8日～14日

(イ) 内容 15秒CMを1日28回

合計196回放送

(ウ) 場所 広島市中区紙屋町 革屋町ビル壁面



エ テレビCM

(ア) 期間 5月の赤十字運動月間～年度末

(イ) 内容 赤十字の支援者としての会員の増強と会費・寄付金を募るため、民放テレビ4局で放送。



オ 看板広告

(ア) 期間 通年

(イ) 内容 赤十字思想の普及と支援者からの会費・寄付金増強のため、平成26年から広島電鉄宮島線高須駅構内に交通広告を設置。



カ ホームページリニューアル

(ア) 期間 4月1日～

(イ) 内容 全社的なデジタルマーケティングの一環として、本社と支部WEBサイトを統合し、サイトデザインを統一化。



キ Instagramの開設

(ア) 期間 1月5日～

(イ) 内容 近年、Instagramの利用率が増加し、特に10代の利用率が高いことから、青少年赤十字事業に係る情報発信等を効果的に行うことを目的として開設。



(3) メディア出演

ア 赤十字運動月間 PR

(ア) 日時 5月17日

(イ) 内容 赤十字運動月間のPRと赤十字事業の紹介

(ウ) 場所 FMはつかいち（ゆめタウン廿日市）



7 会員と活動資金

支部の事業は、会員や協力会員の皆さまや寄付者からお寄せいただく活動資金により行っています。また、その募集は地域の方々や赤十字奉仕団員の協力により支えられています。

(1) 会員

「会員」とは、人道を原則とする赤十字の活動に賛同し、毎年 2,000 円以上の資金協力をしていただく方のことです。

また、「協力会員」は、会員以外の者で赤十字の活動に賛同し、目安として毎年 500 円以上の資金協力をしていただく方のことです。

■会員状況

種別	区分	会員数（人・法人）
会 員	個 人	4,156
	法 人	2,636
協力会員	—	323,691
合計		330,483

(2) 活動資金

「活動資金」とは、会員の皆さまからの会費と、協力会員の皆さまから提供された資金や広く寄せられる寄付金のことです。

活動資金は、地区・分区による町内会・自治会を通じたもののほか、クレジットカードや口座振替、募金箱、寄付金付自動販売機やダイレクトメールなどにより募集しています。

■活動資金募集状況

区分	実績額（円）
一 般	297,792,995
法 人	58,563,443
合計	356,356,438

■地域別活動資金募集状況

地区・分区名	一般（円）	法人（円）	合計（円）
広島市	60,961,101	689,000	61,650,101
呉市	28,870,547	310,000	29,180,547
竹原市	3,939,100	0	3,939,100
三原市	9,011,710	22,000	9,033,710
尾道市	16,371,605	2,000	16,373,605
福山市	23,707,310	172,250	23,879,560
府中市	3,641,200	10,000	3,651,200
三次市	4,793,250	1,000	4,794,250
庄原市	4,756,350	0	4,756,350
大竹市	3,500,450	0	3,500,450
東広島市	13,662,187	120,000	13,782,187
廿日市市	10,278,741	120,000	10,398,741
安芸高田市	3,860,051	0	3,860,051
江田島市	4,200,257	0	4,200,257
府中町	4,274,910	0	4,274,910
海田町	3,017,150	0	3,017,150
熊野町	4,118,500	0	4,118,500
坂町	1,851,300	2,000	1,853,300
安芸太田町	1,182,500	0	1,182,500
北広島町	2,562,546	0	2,562,546
大崎上島町	1,569,000	0	1,569,000
世羅町	1,871,370	500	1,871,870
神石高原町	1,473,100	0	1,473,100
地区・分区計	213,474,235	1,448,750	214,922,985
広島県支部計	84,318,760	57,114,693	141,433,453
合計	297,792,995	58,563,443	356,356,438

(3) 企業とのパートナーシップ

継続して活動資金をご支援いただける県内の法人等を「赤十字サポーター」として認定し、CSRや社会貢献活動におけるパートナーシップを確立しています。

※ 赤十字サポーター認定法人数は109社、寄付金付自動販売機の設置台数は104台。

(令和4年3月31日現在)

(4) 赤十字大会

支援者・ボランティア・地区区分担当者等を招集し、全国赤十字大会に参加しています。
令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止となりました。

名称	日程	場所	参加者(人)
令和3年度全国赤十字大会	—	—	新型コロナウイルス感染症に係る影響を考慮し中止

(5) 広島県赤十字有功会

広島県赤十字有功会は、日本赤十字社広島県支部への活動資金の支援により有功章以上を受章した個人・法人で組織されており、赤十字活動への支援や会員相互の親睦を図ることを目的として、平成17年9月に発足しました。

ア 会員数

328 (個人 71、法人 257) 令和4年3月末時点

イ 役員 (任期：令和2年7月～3年間)

役員名	氏名	現職 (法人)・居住地 (個人)
会長	田村 興造	広島ガス株式会社 代表取締役会長
副会長	部谷 俊雄	株式会社ひろぎんホールディングス 代表取締役社長
	小田 宏史	株式会社もみじ銀行 頭取
	松本 和久	株式会社サタケ 代表取締役社長
常任委員	土肥 博雄	広島市
	山根 以久子	株式会社サンポール 代表取締役社長
	池田 浩直	鯉城タクシー株式会社 代表取締役社長
	中嶋 栄子	株式会社フカイ 代表取締役
監事	岡田 民男	松電産業株式会社 代表取締役会長
	小松 節子	株式会社メンテックワールド 代表取締役社長

ウ 活動実績

(ア) 青少年赤十字活動への支援

(青少年赤十字トレーニング・センター、100万羽おりづるプロジェクト)

(イ) 赤十字事業に関する情報の提供 (有功会報第19号発行 (令和4年1月) 1,000部)

8 看護師等養成事業

日本赤十字広島看護大学は、赤十字の中国・四国ブロックにおける拠点校として、国内外の保健・医療・福祉の分野をはじめ、災害救護や国際救援、教育・研究現場等様々な場において活躍できる看護師等の養成を行っています。



日本赤十字広島看護大学

(1) 在籍状況

赤十字の人道の理念を基調とした教育と人々の命と権利を尊重することを基本とした「ヒューマンケアリング」の精神のもとに、豊かな人間性と幅広い教養を身につけた人材育成に努めています。

■ 学年別在籍状況

1 学年 (人)	2 学年 (人)	3 学年 (人)	4 学年 (人)	大学院 (人)	合計 (人)
131	136	131	166	29	593

(2) 進路状況

卒業後は、看護師・助産師・保健師などの国家資格を活かし、各地の赤十字病院をはじめとする医療施設や、都道府県や市町に就職し活躍しています。

■ 学部卒業生進路状況

卒業生 (人)	就職 (人)				進学 (人)	その他 (人)
	赤十字の医療施設	国公立系の医療施設	公的医療施設	その他の病院等		
164	89	10	49	11	4	1



基礎看護学演習



災害看護学演習

9 血液事業

新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、血液センターでは十分な感染予防対策や献血会場の安全性の確保対策を講じたうえで、献血協力団体等の皆さまに、献血実施の安全性及び国民の生命を支える献血の必要性についてご理解をいただけてきました。

また「新しい生活様式」を踏まえ、SNSを活用したタイムリーな広報を行うとともに献血WEB会員を募集し協力の要請や献血会場における混雑・密集回避のための献血予約の推進を行っています。

(1) 献血実績

200mL 献血 (人)	400mL 献血 (人)	成分献血 (人)	合計 (人)
1,471	74,901	45,213	121,585

(2) 供給実績

200mL 由来 (本)		400mL 由来 (本)		成分由来 (本)		合計 (本)
赤血球製剤	血漿製剤	赤血球製剤	血漿製剤	血小板製剤	血漿製剤	
1,103	91	69,992	7,808	28,769	3,754	111,517

(3) 献血思想の普及

ア 「愛の血液助け合い運動」

毎年7月の1ヶ月間、厚生労働省・各都道府県及び日本赤十字社が主催して全国一斉に「愛の血液助け合い運動」を実施しています。

この運動の一環として、献血運動の推進に関し積極的に協力し、他の模範となる実績を示した40団体と16名の個人に対し献血功労者表彰・感謝状を贈呈しました。

また、県内の中学生・高校生を対象に献血について関心を深めてもらうことを目的に献血推進ポスターを募集し、応募のあった献血推進ポスター228点の中から入選作品16点を表彰しました。

なお、「令和3年度広島県献血推進功労者等表彰伝達式—献血感謝のつどい—」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し中止となりました。



第22回広島県献血推進ポスター最優秀賞
広島県立広島観音高等学校 内藤 沙智 さんの作品

イ 「はたちの献血」キャンペーン

1月1日から2月末日までの2ヶ月間、新たに成人を迎える「はたち」の若者を中心に、広く国民に献血への理解と協力を求めることを目的に「はたちの献血」キャンペーンを実施しました。

10 医療事業

県内には広島赤十字・原爆病院、庄原赤十字病院、三原赤十字病院の3つの赤十字病院があり、いずれも地域の中核病院としての役割を果たしています。

近年、医療事業においては医療費削減や医師不足等、取り巻く環境は非常に厳しい状況となっていますが、各病院は地域の特性に応じたサービスの提供と良質な医療の提供に重点をおいた事業を展開しています。

(1) 広島赤十字・原爆病院

広島赤十字・原爆病院は、地域の中核病院として通常医療を継続しつつ、広島県や広島市などの要請に基づき、新型コロナウイルス感染症への様々な対応を行いました。



広島赤十字・原爆病院

診療科目 (32科)	内科、肝臓内科、腎臓内科、血液内科、内分泌・代謝内科、脳神経内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、精神科、外科、消化器外科、血管外科、乳腺外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、リウマチ科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、緩和ケア内科、歯科口腔外科、病理診断科
---------------	---

病床数 (床)		職員 (人)				入院患者 (人)		外来患者 (人)	
許可	実働	医師	看護要員	その他	計	延数	一日平均	延数	一日平均
565	557	160	652	406	1,218	180,210	493.7	327,960	1,355.2

(2) 庄原赤十字病院

庄原赤十字病院は、広島県北部の中山間地域において急性期から慢性期までの医療を担う中核病院です。本年度は血液内科標榜し、地域医療を支える診療体制を拡充しました。



庄原赤十字病院

診療科目 (22科)	内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病内科、腎臓内科、脳神経外科、小児科、外科、透析外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、神経内科、漢方・疼痛緩和科、呼吸器内科、血液内科
---------------	--

病床数 (床)		職員 (人)				入院患者 (人)		外来患者 (人)	
許可	実働	医師	看護要員	その他	計	延数	一日平均	延数	一日平均
300	298	37	241	127	405	85,461	234.1	113,599	469.4

(3) 三原赤十字病院

三原赤十字病院は、近年増加傾向にある生活習慣病に対応すべく、糖尿病などの教育的入院の実践、医師をはじめ薬剤師・栄養士による各種指導、生活習慣病予防講座の開催など、病気の治療だけでなく、予防医療にも積極的に取り組むとともに、訪問診療・訪問看護等の在宅医療を推進することにより、地域に密着した医療の提供を行いました。



三原赤十字病院

診療科目 (20科)	内科、呼吸器内科、肝臓内科、循環器内科、消化器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リウマチ科、リハビリテーション科、緩和ケア外科
---------------	--

病床数 (床)		職員 (人)				入院患者 (人)		外来患者 (人)	
許可	実働	医師	看護要員	その他	計	延数	一日平均	延数	一日平均
197	197	22	148	81	251	44,212	121.1	72,140	274.3

Ⅲ 決算状況

1 一般会計

(1) 日本赤十字社広島県支部

■歳入

支部収入	予算額 (円)	決算額 (円)
社資収入	412,573,000	356,376,438
委託金等収入	0	996,818
補助金及び交付金収入	1,993,000	3,295,462
災害等義援金預り金収入	203,037,000	203,031,779
繰入金収入	34,169,000	34,031,362
資産収入	27,062,000	25,382,300
雑収入	13,845,000	5,547,029
前年度繰入金	102,057,000	125,250,075
合計	794,736,000	753,911,263

■歳出

支部費	予算額 (円)	決算額 (円)
災害救護事業費	262,917,000	243,410,284
社会活動費	94,636,000	63,512,457
国際活動費	3,123,000	2,124,414
指定事業地方振興費	3,020,000	3,020,000
地区分区交付金支出	54,471,000	34,717,536
社業振興費	67,242,000	49,686,747
基盤整備交付金補助金支出	4,530,000	4,530,000
積立金支出	134,365,000	133,332,700
総務管理費	86,326,000	70,758,288
資産取得及び資産管理費	27,106,000	17,920,910
本社送納金支出	54,000,000	50,453,465
予備費	3,000,000	—
合計	794,736,000	673,466,801

2 医療施設特別会計

(1) 広島赤十字・原爆病院

■収益の収入

病院収益	予算額 (円)	決算額 (円)
医業収益	22,067,107,000	21,850,867,999
医業外収益	1,429,970,000	1,921,251,084
医療社会事業収益	80,000	1,780,666
付帯事業収益	82,459,000	90,097,206
特別利益	0	3,755,460
合計	23,579,616,000	23,867,752,415

■収益の支出

病院費用	予算額 (円)	決算額 (円)
医業費用	23,611,938,000	21,739,497,422
医業外費用	173,172,000	166,295,933
医療奉仕費用	119,310,000	99,406,711
付帯事業費用	152,344,000	140,072,673
特別損失	13,584,000	8,094,717
法人税等	6,433,000	0
予備費	—	—
合計	24,076,781,000	22,153,367,456

■資本的収入

病院収入	予算額 (円)	決算額 (円)
固定負債	209,017,000	199,719,000
資産売却収入	—	—
その他資本収入	1,273,075,000	1,239,895,907
合計	1,482,092,000	1,439,614,907

■資本的支出

病院費	予算額 (円)	決算額 (円)
固定資産	559,076,000	529,362,452
借入金等償還	923,016,000	910,252,455
合計	1,482,092,000	1,439,614,907

(2) 庄原赤十字病院

■収益の収入

病院収益	予算額 (円)	決算額 (円)
医業収益	5,829,396,000	5,733,266,007
医業外収益	374,861,000	1,819,196,786
医療社会事業収益	—	—
付帯事業収益	26,552,000	28,550,789
特別利益	40,000	240,200
合計	6,230,849,000	7,581,253,782

■収益の支出

病院費用	予算額 (円)	決算額 (円)
医業費用	6,264,240,000	6,043,199,181
医業外費用	37,689,000	37,108,110
医療奉仕費用	119,415,000	110,022,509
付帯事業費用	34,555,000	29,466,106
特別損失	2,525,000	2,125,771
法人税等	2,418,000	475,307
予備費	—	—
合計	6,460,842,000	6,222,396,984

■資本的収入

病院収入	予算額 (円)	決算額 (円)
固定負債	84,529,000	83,649,000
資産売却収入	—	—
その他資本収入	449,102,000	437,360,048
合計	533,631,000	521,009,048

■資本的支出

病院費	予算額 (円)	決算額 (円)
固定資産	257,820,000	245,198,823
借入金等償還	275,811,000	275,810,225
合計	533,631,000	521,009,048

(3) 三原赤十字病院

■収益の収入

病院収益	予算額 (円)	決算額 (円)
医業収益	3,291,223,000	2,875,591,335
医業外収益	64,929,000	1,655,003,393
医療社会事業収益	1,710,000	1,554,000
付帯事業収益	47,020,000	60,599,767
特別利益	—	73,542
合計	3,404,882,000	4,592,822,037

■収益の支出

病院費用	予算額 (円)	決算額 (円)
医業費用	3,291,175,000	2,982,469,408
医業外費用	31,424,000	31,423,318
医療奉仕費用	72,311,000	66,888,824
付帯事業費用	48,990,000	47,222,806
特別損失	6,111,000	6,110,597
法人税等	—	—
予備費	—	—
合計	3,450,011,000	3,134,114,953

■資本的収入

病院収入	予算額 (円)	決算額 (円)
固定負債	208,407,000	208,405,500
資産売却収入	—	—
その他資本収入	453,950,000	453,949,795
合計	662,357,000	662,355,295

■資本的支出

病院費	予算額 (円)	決算額 (円)
固定資産	425,928,000	425,927,175
借入金等償還	236,429,000	236,428,120
合計	662,357,000	662,355,295

IV 参考資料

1 赤十字施設一覧

(令和3年4月1日現在)

施設名	郵便番号	住所
日本赤十字社広島県支部	730-0052	広島市中区千田町二丁目 5-64 082 (241) 8811
広島赤十字・原爆病院	730-8619	広島市中区千田町一丁目 9-6 082 (241) 3111
庄原赤十字病院	727-0013	庄原市西本町二丁目 7-10 0824 (72) 3111
三原赤十字病院	723-8512	三原市東町二丁目 7-1 0848 (64) 8111
広島県赤十字血液センター	730-0052	広島市中区千田町二丁目 5-5 082 (241) 1246
本通出張所 (献血ルーム「もみじ」)	730-0035	広島市中区本通 6-11 明治安田生命広島本通ビル 1・2F 082 (248) 6034
紙屋町出張所 (献血ルーム「ピース」)	730-0031	広島市中区紙屋町二丁目 3-20 ソシオスクエア紙屋町 4F 082 (248) 1230
福山出張所	721-0942	福山市引野町二丁目 23-26 084 (940) 5566
日本赤十字社中四国ブロック 血液センター	730-0052	広島市中区千田町二丁目 5-5 082 (241) 1311
日本赤十字広島看護大学	738-0052	廿日市市阿品台東 1-2 0829 (20) 2800

2 地区・分区一覧

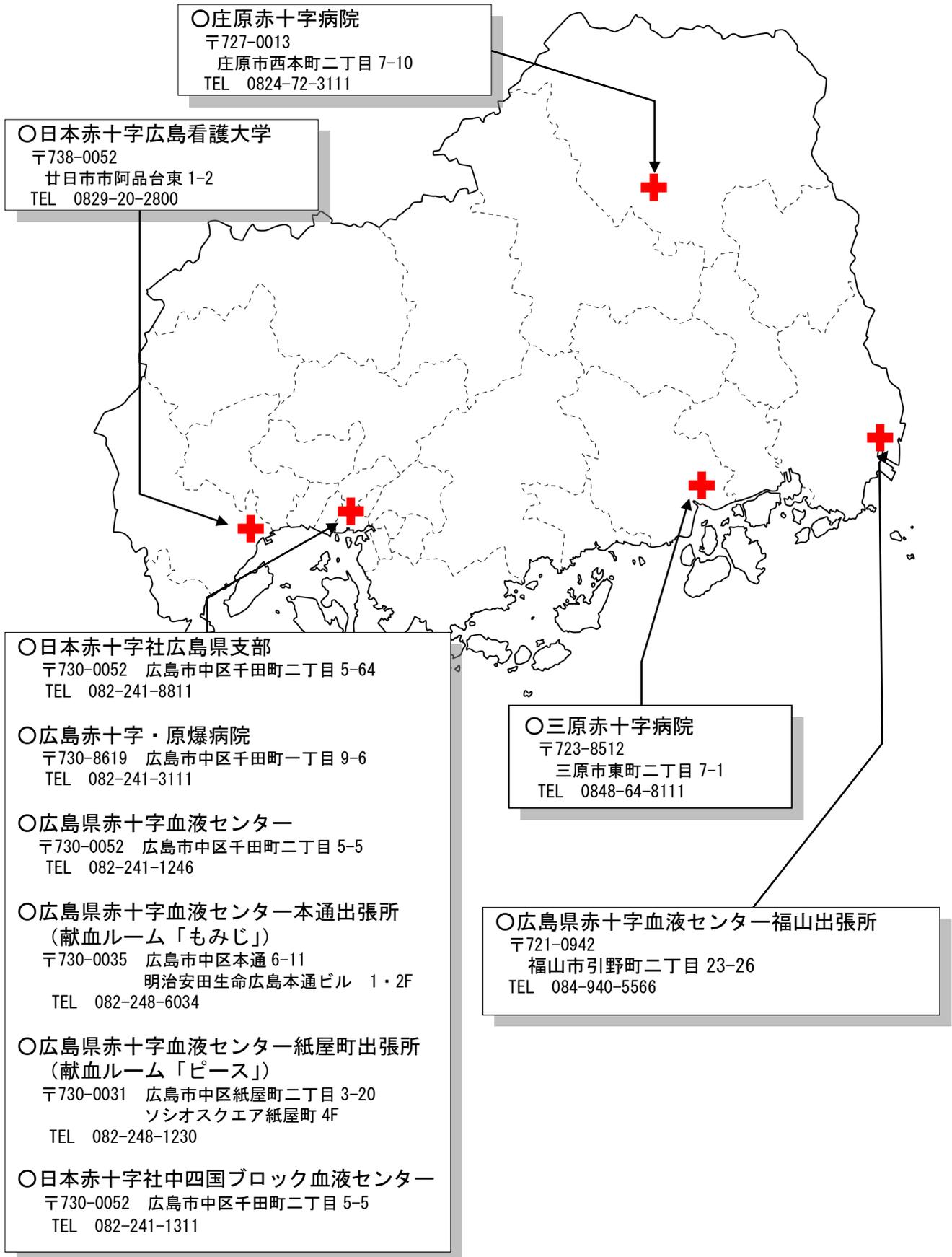
(令和3年4月1日現在)

地区・分区名		郵便番号	住所
広島市地区本部		730-8586	広島市中区国泰寺町一丁目 6-34 広島市健康福祉局地域共生社会推進課内
中区地区		730-8565	広島市中区大手町四丁目 1-1 中区役所生活課
東区地区		732-8510	広島市東区東蟹屋町 9-34 東区役所生活課
温品分区		732-0033	広島市東区温品五丁目 1-18 東区役所温品出張所
南区地区		734-8523	広島市南区皆実町一丁目 4-46 南区役所生活課
似島分区		734-0017	広島市南区似島町字家下 752-74 南区役所似島出張所
西区地区		733-8535	広島市西区福島町二丁目 24-1 西区役所生活課
安佐南区地区		731-0194	広島市安佐南区中須一丁目 38-13 安佐南区役所生活課
安古市分区		731-0194	広島市安佐南区中須一丁目 38-13 安佐南区役所生活課
佐東分区		731-0103	広島市安佐南区緑井六丁目 29-28 安佐南区役所佐東出張所
祇園分区		731-0138	広島市安佐南区祇園二丁目 48-7 安佐南区役所祇園出張所
沼田分区		731-3164	広島市安佐南区伴東七丁目 64-8 安佐南区役所沼田出張所
安佐北区地区		731-0221	広島市安佐北区可部三丁目 19-22 安佐北区役所生活課
可部分区		731-0221	広島市安佐北区可部三丁目 19-22 安佐北区役所生活課
高陽分区		739-1751	広島市安佐北区深川五丁目 13-7 安佐北区役所高陽出張所
白木分区		739-1414	広島市安佐北区白木町秋山 2391-4 安佐北区役所白木出張所
安佐分区		731-1142	広島市安佐北区安佐町大字飯室 3052-1 安佐北区役所安佐出張所

地区・分区名		郵便番号	住所
安芸区地区	安芸区地区	736-8555	広島市安芸区船越南三丁目 2-16 安芸区役所生活課
	船越分区	736-8555	広島市安芸区船越南三丁目 2-16 安芸区役所生活課
	中野分区	739-0321	広島市安芸区中野三丁目 20-9 安芸区役所中野出張所
	矢野分区	736-0083	広島市安芸区矢野東五丁目 7-18 安芸区役所矢野出張所
	阿戸分区	731-4231	広島市安芸区阿戸町 6257-2 安芸区役所阿戸出張所
佐伯区地区	佐伯区地区	731-5195	広島市佐伯区海老園一丁目 4-5 佐伯区役所生活課
	湯来分区	738-0601	広島市佐伯区湯来町大字和田 166 佐伯区役所湯来出張所
呉市地区		737-8501	呉市中央四丁目 1-6 呉市役所 2 階 呉市市民部地域協働課
竹原市地区		725-8666	竹原市中央五丁目 1-35 竹原市市民福祉部社会福祉課
三原市地区		723-0014	三原市城町一丁目 2-1 カン・シープ ラサ 4 階 三原市社会福祉協議会
尾道市地区		722-8501	尾道市久保一丁目 15-1 尾道市福祉保健部社会福祉課
福山市地区		720-8512	福山市三吉町南二丁目 11-22 福山市社会福祉協議会
府中市地区		726-0011	府中市広谷町 919-3 府中市社会福祉協議会
三次市地区		728-0013	三次市十日市東三丁目 14-1 三次市社会福祉協議会
庄原市地区		727-0013	庄原市西本町四丁目 5-26 庄原市社会福祉協議会
大竹市地区		739-0692	大竹市小方一丁目 11-1 大竹市健康福祉部地域介護課
東広島市地区		739-8601	東広島市西条栄町 8-29 東広島市健康福祉部地域共生推進課
廿日市市地区		738-8512	廿日市市新宮一丁目 13-1 廿日市市社会福祉協議会

地区・分区名		郵便番号	住所
安芸高田市地区		731-0521	安芸高田市吉田町常友 1564-2 安芸高田市社会福祉協議会
江田島市地区		737-2302	江田島市能美町鹿川 2060 江田島市社会福祉協議会
安芸	府中町分区	735-0023	安芸郡府中町浜田本町 5-25 府中町社会福祉協議会
	海田町分区	736-0035	安芸郡海田町日の出町 2-35 海田町社会福祉協議会
	熊野町分区	731-4214	安芸郡熊野町中溝一丁目 11-1 熊野町社会福祉協議会
	坂町分区	731-4312	安芸郡坂町平成ヶ浜一丁目 3-19 坂町社会福祉協議会
山県	安芸太田町分区	731-3702	山県郡安芸太田町大字中筒賀 2802-5 安芸太田町社会福祉協議会
	北広島町分区	731-2104	山県郡北広島町大朝 2513-1 北広島町社会福祉協議会
豊田	大崎上島町分区	725-0401	豊田郡大崎上島町木江 5-9 大崎上島町社会福祉協議会
世羅	世羅町分区	722-1121	世羅郡世羅町大字西上原 426-3 世羅町社会福祉協議会
神石	神石高原町分区	720-1522	神石郡神石高原町小島 1748 神石高原町社会福祉協議会

県内の赤十字施設





日本赤十字社 広島県支部

Japanese Red Cross Society

〒730-0052 広島市中区千田町二丁目 5-64

TEL 082-241-8811 FAX 082-240-2741

<https://www.jrc.or.jp/chapter/hiroshima/>